

正誤箇所	誤	正
1 章 p. 2 左段下から 5 行目 1 章 p. 4 参考文献(11) 9 章 p. 85 参考文献(1) 【英語表記修正】	ISO 9712 Non-destructive Testing - Qualification and <u>Certification of Personnel</u>	ISO 9712 Non-destructive Testing - Qualification and Certification of <u>NDT</u> Personnel
1 章 p. 2 表 1. 2. 1 【英訳修正】	磁気探傷試験（磁粉探傷試験） （Magnetic <u>particle</u> testing）	磁気探傷試験（磁粉探傷試験） （ <u>Magnetic testing</u> ）
1 章 p. 4 参考文献(16) 【参考文献修正】	NDIS 3428 赤外線サーモグラフィ法による <u>建造物表層における</u> 変状評価のための試験方法	NDIS 3428 赤外線サーモグラフィ法による <u>建築・土木構造物表層部の</u> 変状評価のための試験方法
2 章 p. 6 左段下から 5 行目 【誤字修正】	エネルギー <u>順位</u> を持っている	エネルギー <u>準位</u> を持っている
2 章 p. 7 右段下から 4 行目 【数式修正】	$q = \lambda \times \frac{dT}{dx} \quad \cdots \cdots (2.1.4)$	$q = \underline{-\lambda} \times \frac{dT}{dx} \quad \cdots \cdots (2.1.4)$
2 章 p. 8 右段下から 2 行目 【表現修正】	黒体の場合、 <u>温度</u> の 4 乗に比例する	黒体の場合、 <u>絶対温度</u> の 4 乗に比例する
2 章 p. 15 参考文献(10) 【参考文献修正】	(10) 日本非破壊検査協会規格：NDIS 3005 赤外線サーモグラフィ試験用語，日本非破壊検査協会， <u>(2009)</u>	(10) 日本非破壊検査協会規格：NDIS 3005 赤外線サーモグラフィ試験用語，日本非破壊検査協会， <u>(2022)</u>
5 章 p. 55 表 5. 1. 3 【数値修正】	表 5.1.3 主な物質の比熱容量 c 空気（20℃：乾燥） <u>10.1</u>	表 5.1.3 主な物質の比熱容量 c 空気（20℃：乾燥） <u>1.01</u>
6 章 P. 62 左段下から 2 行目 6 章 p. 63 左段 5 行目 【表現修正】	角度が <u>深く</u> なるに	角度が <u>大きく</u> なるに
6 章 p. 63 左段下から 4 行目 【数値修正】	(a)では温度スパンが 4.7℃（= 36.1℃－ <u>34.7℃</u> ）と小さく，	(a)では温度スパンが 4.7℃（= 36.1℃－ <u>31.4℃</u> ）と小さく，